

# 日商 P C 検定試験

## 文書作成分野 1 級答案用紙

(平成 1 8 年 1 0 月 1 日施行)

氏 名
生年月日                      年                      月                      日

### 問題 1

デジタル5大パワーとは、データがデジタル化となりネットを活用することにより、従来の紙や電話、FAXを活用した仕事のやり方に比べ情報発信力、情報収集力、情報伝達力、電子商取引力そしてコスト対応力の5つが決定的に異なってくることである。

特に「コスト対応力」とは、コミュニケーションにかかるコストが月額定額となり、従来の電話などのように使うほど高くなる従量課金でないため、使えば使うほど安くなる。

例えば、1000 通の DM を出すコストと電子メールで知らせるコストの比較やチラシの求人広告とインターネット活用の求人サイトなどを比較すれば桁違いの安さのみならず受け手への情報到達スピードが違うことがわかる。

コスト対応力が顕著となる分野では、銀行の窓口対応やホテルなどの予約対応あるいは書籍や日用品購入対応などがある。

### 問題 2

図解の役割は、次の 3 点に大きく分けることができる。

まず、情報を効果的に伝えるという役割がある。図解が持つ特長である、全体像がすばやく伝わる、全体の関係・構造を整理して示せる、重要ポイントを要約して伝えられるといったものを活用することで、伝達効率が高まる。

図解はまた、考えをまとめるという役割を果たすこともできる。図解を利用することで物事を整理し全体像を明確にするのに役立てることができる。複雑な物事を考えなければならないときは、考えていることを紙の上に丸や矢印を使って描き表してみると、物事の本質が見えてきたり矛盾に気づいたりすることもある。

相手を納得させるという役割を担うこともできる。内容がうまく表現された図解は、情報を効果的に伝達するだけでなく、さらに相手を納得させる力も持っている。

2007 年 1 月 17 日

経営連絡会メンバー各位

人事課長 日商太郎

## 社内教育研修提案書

当社には体系的な教育プログラムが無く、新入社員教育以外はほとんど社員教育研修が行われていない状態が続いてきました。しかし、変化の激しい時代を乗り切っていくためにも教育体系を整え、必要な教育研修を進めるべきという判断の下に、社員教育研修案を下記のようにまとめましたので、提出します。

本教育研修提案書をベースに、最終的な教育プログラムとしてまとめ実施に移して、所期の目的を達成していく予定です。ご検討をよろしくお願いします。

### 記

#### ■教育研修の目的

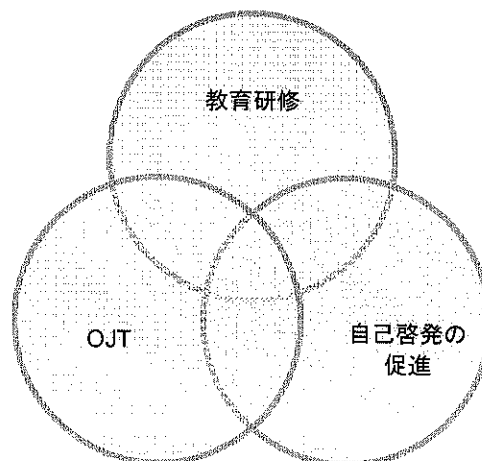
教育研修の目的は、次の 3 点である。

- ・教育研修の全体像と教育方針を示し、各人の学ぶべき内容・方法・時期などを明確にする。
- ・教育研修を積極的に推進することによって一人一人の能力開発を促進し、時代の変化と技術革新に即応できる実務能力・専門能力の向上を図る。
- ・教育研修に対する体系的・長期的な取り組みを進めることで教育研修の定着を図り、企業価値向上に結びつける。

#### ■教育研修体系の骨子

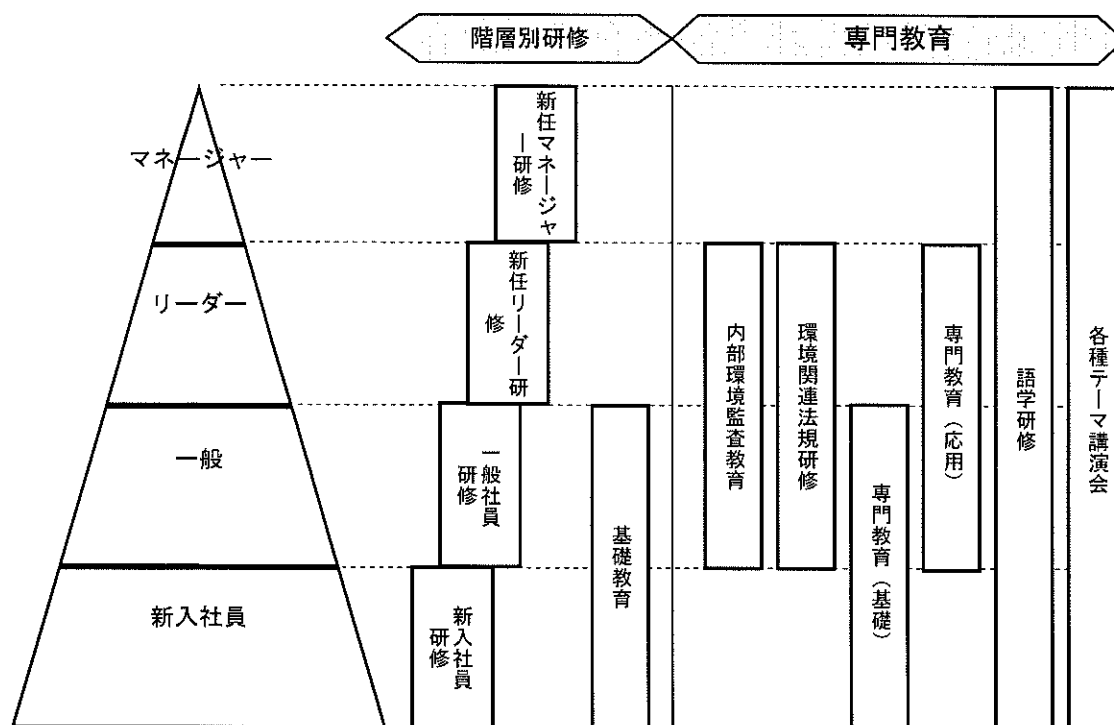
教育研修の骨子は次の 4 項目であり、この 3 つの要素が図のように組み合わせられてはじめて効果的な教育研修が期待できる。

- ・必要な教育研修が展開されるようにする。
- ・日常的に、OJT でスキルアップが図れるようにする。
- ・教育研修活動によって、自主的・自発的な自己啓発が促進されるようにする。



## ■教育研修体系

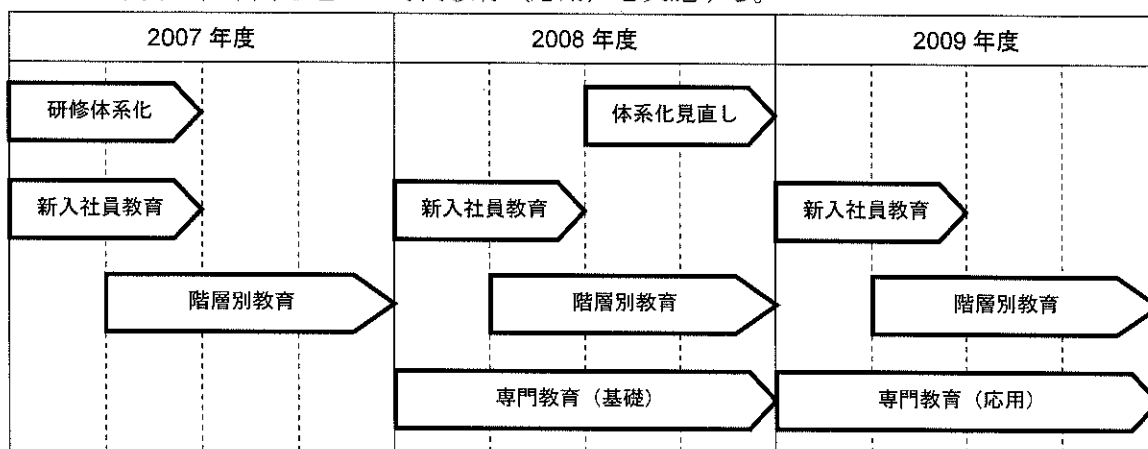
階層別の教育体系を、下図に示す。



## ■スケジュール

教育研修全体のスケジュールは、次のとおりとする。

- ・教育研修を、2007 年度から 3 年計画で進める。
- ・2007 年度前半に教育体系を確立させ、2008 年度後半にその見直しを行う。
- ・毎年度、上期に新入社員教育、上半期後半と下期に階層別教育を実施する。
- ・2008 年度は、年間を通して専門教育（基礎）を実施する。
- ・2009 年度は、年間を通して専門教育（応用）を実施する。



以上